

広島大学（牽引型）

ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ
実施期間：H29年～H34年

共同実施機関：マツダ株式会社・デルタ工業株式会社・一般財団法人国際開発センター

【取組概要（目標）】

大学、ものづくり企業、国際協力シンクタンクの連携のもと、「**国際型ダイバーシティ研究環境実現プログラム**」を実施し、女性研究者採用の増加と上位職登用、環境整備等の取組強化による第4次男女共同参画基本計画、第5期科学技術基本計画に掲げる目標値達成へ貢献する。加えて、理工農学系を中心に、グローバルな視野を活かし、国際目標である**持続可能な開発目標（SDGs）**に取り組む女性研究者の量的・質的拡充を目指す。

【体制図】

産学官ダイバーシティ推進協議会



広島大学



mazda

DELTA

デルタ工業株式会社



国際開発センター

メンバー機関：大学・研究機関・企業・公共機関・行政機関等

第三者
評価委員会

運営委員会

タスクフォース[1]

タスクフォース[2]

タスクフォース[3]

タスクフォース[4]

国際型ダイバーシティ研究環境実現プログラム

取組①

ダイバーシティ
研究環境整備強化

取組②

女性研究者研究力
向上・リーダー育成

取組③

女性研究者積極
採用・上位職登用

取組④

ダイバーシティ研究
環境実現モデル開発

【特長】

1. 理工農学系の女性研究者の質・量の拡充を主要な目標としたダイバーシティ研究環境の整備強化
2. 大学・ものづくり企業・国際協力シンクタンクの知見を融合させた事業推進
3. 平和・気候変動・防災など、持続可能な社会づくりのための課題に取り組む女性研究者の育成
4. 海外調査研究・英文成果発表を支援し、女性研究者の国際競争力を強化
5. ダイバーシティ研究環境実現モデル開発・ロールモデル育成による、さらなる波及効果

【実施体制】

教育機関、研究機関、企業、地方自治体等が参画する産学官ダイバーシティ推進協議会（以下、推進協議会）を組織する。推進協議会には、本事業の4連携機関のほか、本事業の趣旨に賛同する機関がメンバー機関として参画する。

推進協議会には意思決定機関として運営委員会を設置し、事業全体の方針を決定、実行する。また、運営委員会とは独立した形で第三者評価委員会を設置し、定期的に事業全体及び各取組の進捗と達成度の確認・改善点等の提言を行うことによって、本事業の効果的な実施につなげる。

運営委員会に各取組みを担当する4つのタスクフォースを設置する。運営委員会の委員は各タスクフォースの座長であり、広島大学の実施責任者が委員長を務める。また、各タスクフォースには連携機関およびメンバー機関の担当者が参加し、関係機関の協働体制を構築する。運営委員会では各タスクフォースの進捗状況等を共有し、タスクフォース間の連携を図る。

【支援内容】

①ダイバーシティ研究環境整備強化

- 関係機関の取組み, また, 国内外のダイバーシティ推進好事例の共有
- 育児・介護等のライフイベント中の研究者に対して研究支援員を配置
- 意識啓発セミナー等の実施
- ユビキタス研究環境支援対象拡大

②女性研究者の研究力向上・リーダー育成

- 先端的な研究課題に挑戦する機会の提供
 - ・ SDGsへの貢献を目的とした共同研究講座の設置, 女性研究者の参画促進
 - ・ 異分野・異職種間女性研究者交流会を開催し, 共同研究の促進
 - ・ 女性研究者をリーダーとする共同研究に対して研究費を支援

■ 国際展開力の強化

- ・ 女性研究者海外研究奨励賞の創設
- ・ 国際共同研究のマッチング
- ・ 海外研究計画作成支援
- ・ 英語による研究成果の発表支援

■ セミナー・研修

- ・ 外部資金獲得セミナー
- ・ 研究倫理講習会
- ・ 意識啓発セミナー

③女性研究者の積極採用・上位職登用

- 第4次男女共同参画基本計画, 第5期科学技術基本計画に掲げる目標値に沿った女性研究者割合を目標
- 広島大学での学び直し, 学位取得によるキャリアアップ
- ロールモデルの創出, 女性学生対象インターンシップ等による裾野拡大

④ダイバーシティ研究環境実現モデル開発

- 取組①～③の効果検証, 関係機関の従業員等に対する調査研究を通して, 業種・組織に応じたモデルの開発
- 各業種・組織の状況に応じた研修方法や施策の開発と提案

【これまでの取組み事例】

■ 育児・介護サポート

学内保育所・学童保育の設置, 病後児保育費の補助

■ 研究サポート

女性研究者奨励賞の創設, 女性研究者のための研究資金獲得実践セミナー・スキルアップセミナーの開催, ユビキタス研究環境の整備, 新規採用女性教員に対するメンターの配置, 学内の女性研究者を対象としたメーリングリストの運営, 競争的資金の情報提供

■ キャリアサポート

ロールモデルの提示, 女性研究者のための相談窓口の設置

■ 採用システム等

教員公募文書にポジティブアクションの明記, 女性限定公募の実施, 女性教員ポストアップ制度の実施, 部局等の女性教員採用割合の目標値を決定し, 四半期ごとに部局別の採用割合と女性教員割合を公表

■ 女性学生サポート

女性研究者との交流会・昼食持寄り交流会 (Brown Bag Chat) の開催, 女性大学院生メーリングリストの運営

■ 地域連携・貢献

男性職員を高等学校に講師派遣 (育児参加の体験等を講演), 地域その他機関と連携するため産学官連絡会を組織

■ 女性研究者の裾野拡大

女子高校生対象の質問相談会『お茶会』, 体験科学講座の開催

■ ジェンダー研究・講座

学生向けテキストの作成, 教養科目『ジェンダーと社会』の開講

【お問合せ】

機関名: 国立大学法人 広島大学

所在地: 広島県東広島市鏡山一丁目3番2号

連絡先: ura-women@office.hiroshima-u.ac.jp

URL: <https://www.hiroshima-u.ac.jp/gender/>

